

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果（第17回）

第17回のテーマは「都市計画マスタープラン策定に関するアンケート」でした。

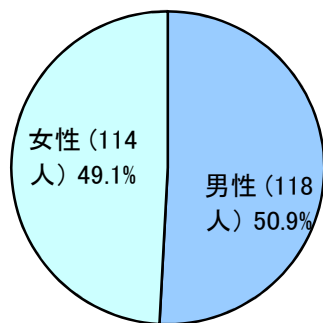
登録者数：325人

実施期間：平成27年6月5日(金)～6月15日(月)

回答者数（回答率）：232人（71.4%）

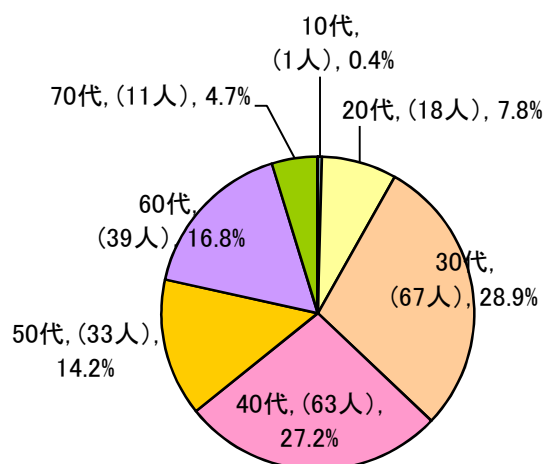
性別

(n=232)



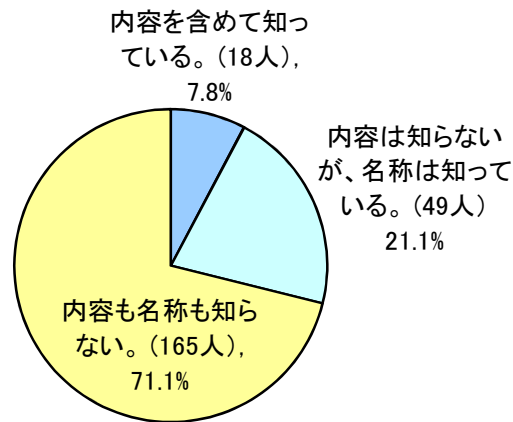
年代

(n=232)



[Q1]あなたは「成田市都市計画マスタープラン」を知っていますか。

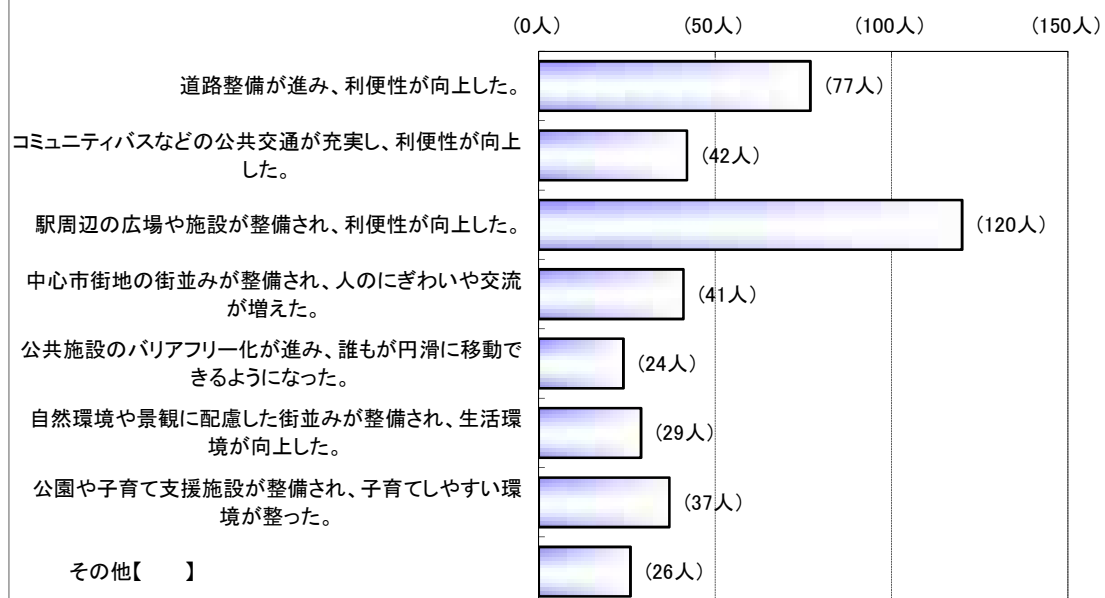
(n=232)



○内容を含めて知っている方が全体の1割未満となっており、ほとんどの方が内容を知らないという結果でした。今後はパブリックコメントなどを活用し、周知を図りながら策定を進めてまいります。

[Q2]市内の公共施設等の整備について、良くなっていると感じるものはどれですか。
(あてはまるものすべてを選択)

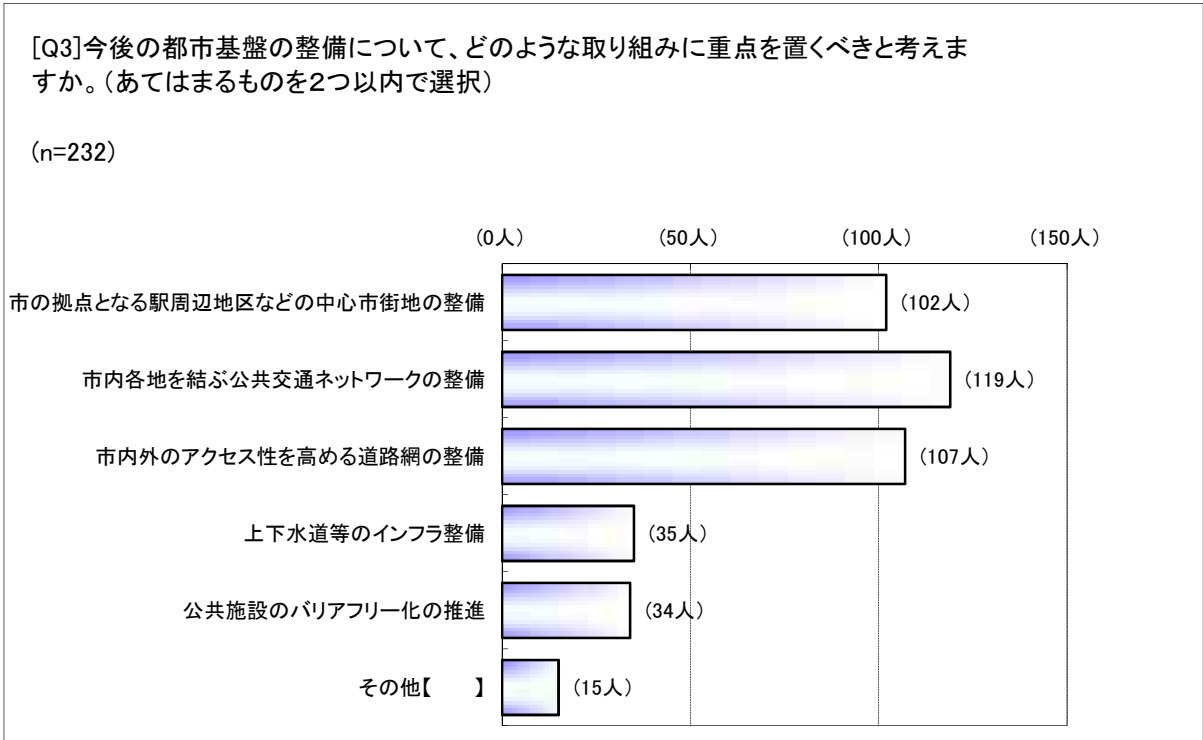
(n=232)



○「駅周辺の広場や施設が整備され、利便性が向上した」と回答した人が最も多い結果でした。その他、道路整備などのハード整備によって交通便利性が向上したことが伺えます。その他については、良くなっている実感があまりないことが伺えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

成田駅前道路では自転車の区別ができた／もりんぴあが出来て図書館が近くなった／街路樹に番号が付いて、管理されるようになった／良くなっているとは思わない



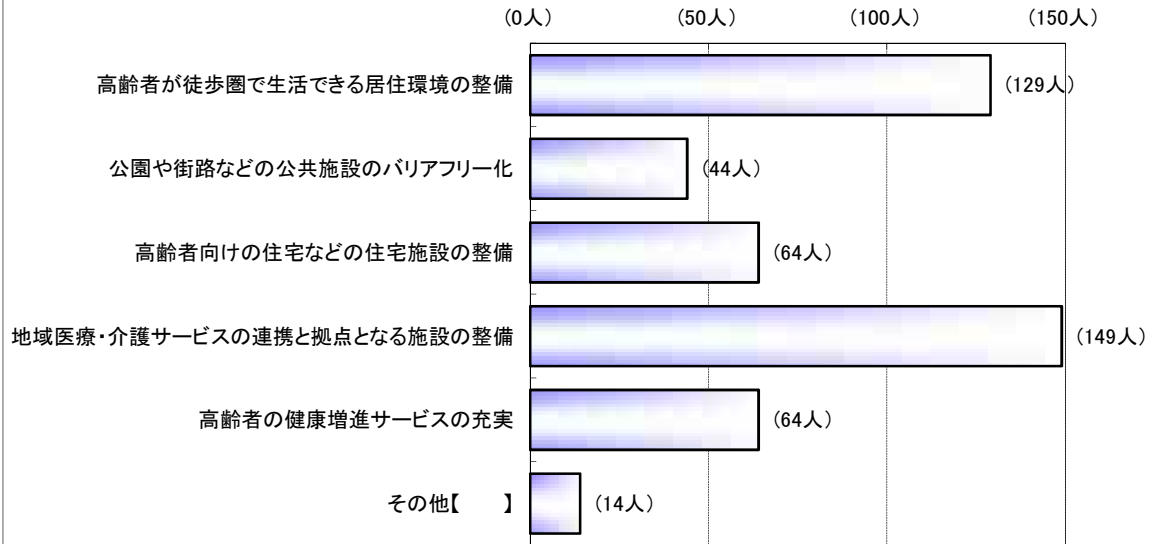
○今後の都市基盤整備では「市内各地を結ぶ公共交通ネットワークの整備」を望む人が最も多い結果でした。その他、「市の拠点となる駅周辺地区などの中心市街地の整備」、「市内外のアクセス性を高める道路網の整備」を望む人も多いことから、市の拠点整備と拠点をつなぐ道路や公共交通といったネットワークの整備が求められていることが伺えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

成田山、空港、大学、立体駐車場の拡張や新設／自転車道等の環境整備／公津の杜駅とその周辺のインフラ整備／一昨年のゲリラ豪雨の補修の仕上げ／水没の改善／JRや京成の駅の新設による市内公共交通の整備促進／市内外を結ぶ電車のネットワーク整備（特に北総線）／久住駅近辺でのスーパー誘致／井戸水を使用しているため、水道を引けるようにして欲しい／将来を考え既存の維持管理が大切／借金を増大させてまで、都市基盤の整備を急ぐことはない

[Q4]高齢化が進むなかで、重要と思われる取り組みを2つ選んでください。

(n=232)



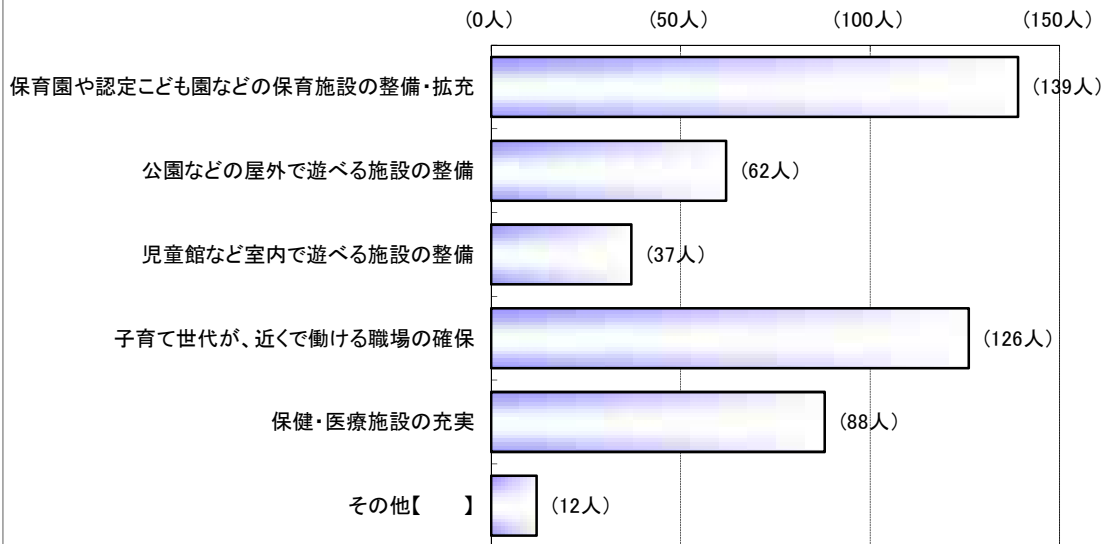
○高齢化が進むなかで重要と思われる取り組みとしては、「地域医療・介護サービスの連携と拠点となる施設の整備」、「高齡者が徒歩圏で生活できる居住環境の整備」を望む人が多い結果でした。今後は、地域医療・介護サービスの連携と拠点となる施設整備に併せて、高齡者が徒歩圏で生活できる居住環境の整備が重要と考えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

独居の支援／高齡者の交流を深める施設や、行事／積極的体力づくりの制度、設備／自己で健康管理を行うための意識啓発／高齡者と生計を共にする世帯の減税免税／高齡者が安全・安心して健康・地球温暖化のために自転車を利用できる環境整備／成田市周辺地域の高齡者のための交通アクセス向上／各年齢間の交流

[Q5]少子化が進むなかで、子育て世代に魅力のあるまちづくりとして、重要と思われる取り組みを2つ選んでください。

(n=232)



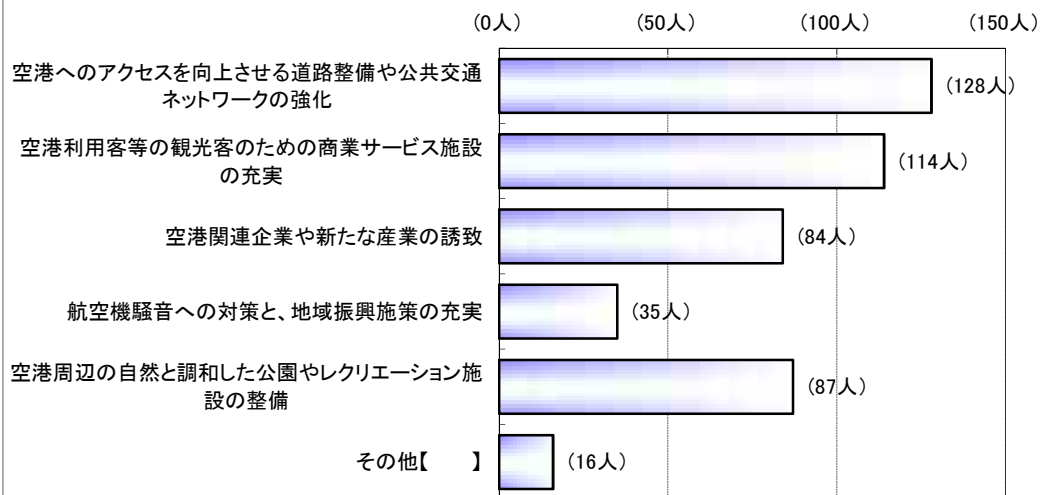
○少子化が進むなかで、子育て世代に魅力のあるまちづくりとして重要と思われる施策は、「保育園や認定こども園などの保育施設の整備・拡充」、「子育て世代が、近くで働ける職場の確保」を望む人が多い結果でした。そのため、子育て世代の就業や共働きを可能とするための施策が求められていることが伺えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

家事代行サービス／所得制限のない手当の充実／市独自の補助金／子育て世代に対する税の軽減や補助等／夜間、休日の診療所／若者の安定した雇用／在宅ワークやフレックスなどの働く場所作り／公園の遊具を以前の魅力的なものにしてほしい／子どもと年配者がつながるような施設／老人施設と小、中学校等の施設の部分的共有化の推進／保育内容を有益で魅力的なものにする

[Q6]空港の立地を活かし、空港と共に栄えるまちづくりを進めるうえで、重要と思われることを2つ選んでください。

(n=232)



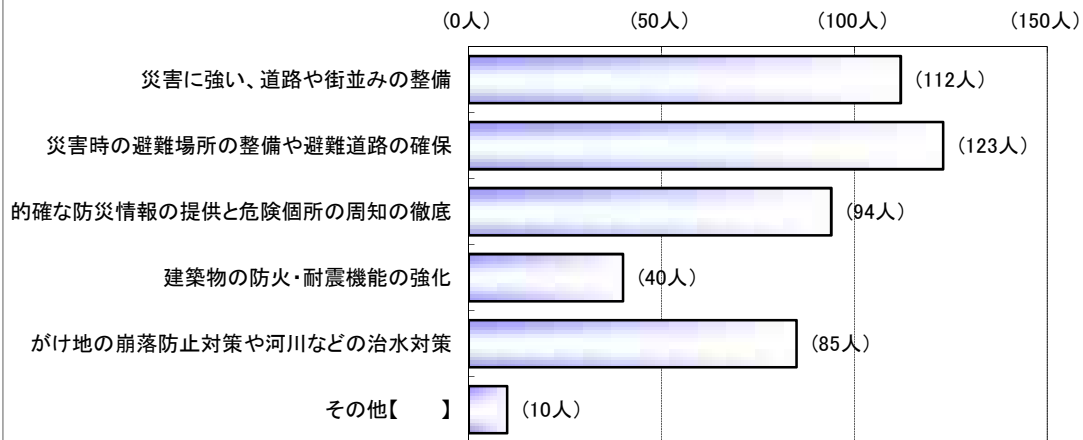
○空港の立地を活かし、空港と共に栄えるまちづくりを進めるうえで重要と思われることは、「空港へのアクセスを向上させる道路整備や公共交通ネットワークの強化」、「空港利用客等の観光客のための商業サービス施設の充実」を望む人が多い結果でした。空港への交通利便性の向上と併せて、商業サービス施設の充実によって更なる集客機能の強化が求められていることが伺えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

滑走路の拡張、新滑走路建設、カーフェューの撤廃／空港の拡大／ハブ空港化／市民が気軽に利用できる空港サービス／成田空港24時間化に向けてのネットワーク／空港と日本各地へのアクセスの拡充／ニュータウン、公津の杜等と成田空港直結のバス路線の新設／空港の駐車料金の値下げ／成田全体が空港と一体化して魅力ある観光地にする／流行りのものや他の場所で成功しているお店の誘致／航空機利用客以外の空港への勧誘の施策／空港施設と成田住民の今以上の交流、成田住民が空港を訪れる企画の実施／スケートボードが出来る公園（有料でよい・日本一の）の整備／成田でないと体験できないことを観光客に体験してもらう／英語教育の徹底（大人も子どもも）／学生交流

[Q7]大規模な災害に備えて、重要と思われる対策を2つ選んでください。

(n=232)



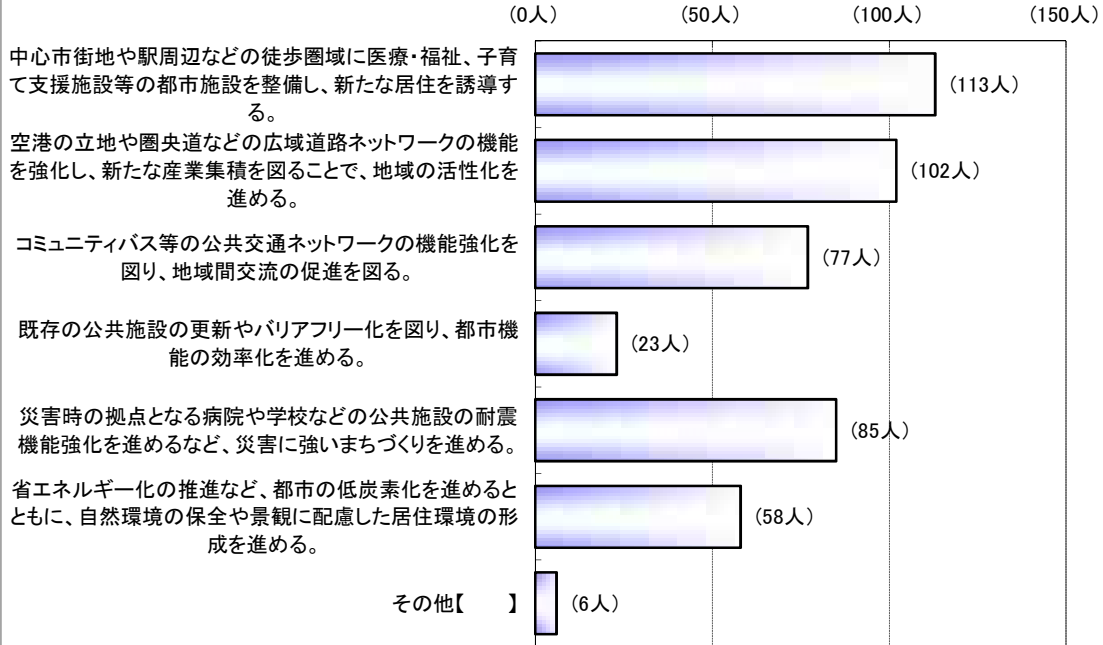
○大規模な災害に備えて重要と思われる対策としては、「災害時の避難場所の整備や避難道路の確保」、「災害に強い、道路や街並みの整備」を望む人が多い結果でした。災害に強いまちづくりに向けては、減災の視点によるインフラ整備に加えて、災害発生後に安全かつ的確な避難を行うためのインフラ整備に加えて求められていることが伺えます。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

備蓄／流通が止まらないように／福祉館、体育館に太陽パネル、空港に風力発電などの
停電対策／耐震リフォーム補助／自主防災組織の確立／自治会などのコミュニティ活動、
地域ネットワークの活発化／地区ごとの避難訓練／家族と向こう三軒両隣りも緊急網に
組み込むフォーマット／個人で消火できる設備の配備と、操作講習／防災対策関連教育
の推進

[Q8]将来のまちづくりを進めるうえで、重要と思われることを2つ選んでください。

(n=232)



○将来のまちづくりを進めるうえで重要と思われるものとしては、「中心市街地や駅周辺などの徒歩圏域に医療・福祉、子育て支援施設等の都市施設を整備し、新たな居住を誘導する」、「空港の立地や圏央道などの広域道路ネットワークの機能を強化し、新たな産業集積を図ることで、地域の活性化を進める」を望む人が多い結果でした。今後の成田市のまちづくりとしては、医療・福祉、子育て環境の充実を図り、新たな居住を誘導するとともに、特有の資源である成田空港の立地や、交通ネットワークの機能強化による新たな産業集積を図り、地域を活性化させることが望まれております。

・「その他」として寄せられた主な意見は次の通りです。

中心市街地以外の発展や都市化／羽田空港と成田空港をリニアでつなぐ／空港だけに頼らない新しい産業集積／駅の新設／豊富な自然を活かした施設で、家族連れや高齢者、観光客が集い、街が発展していけるようなまちづくり／レンタサイクルの活用と推進

[Q9]その他、都市計画マスタープランの策定を進めるにあたり、ご意見があればお書きください。(自由記述)

(1) 今後のまちづくりの方向性に関する意見

- ・ 中心市街地以外の不便さを無くす。
- ・ 駅から徒歩で行ける運動公園に対し、バスを使わないと行けないニュータウン。何かおかしい感じがする現在の成田なので、効率性の良い都市計画をお願いしたい。
- ・ 駅周辺、市街地ばかりに力を入れるのではなく、どこに住んでも住みやすい（特に高齢者）成田市になるように検討して頂きたいです。
- ・ 中心地ばかりでなく、人口が増えてきたのだから開拓地や、空港周辺の機能UPも図って欲しい。ずっと変わらないし、子育てに向かず、仕事も、しづらい。自宅周辺は特に。近くの保育園に入れず、遠くまでいっている。
- ・ むやみな拡大ではなく一極集中でもない、地方都市での効率的居住空間作りが、持続可能なエネルギー政策と共に工夫のしどころではないかと考える。
- ・ 空港と成田山を核にした都市づくりで JR 駅、京成駅の統合も考えて、人の交流に利便性を向上して、明るく楽しい成田市を築きあげてもらいたい。
- ・ ニュータウンなどの DID 周辺をさらに開発し人を一箇所に集中させるのではなく、道路網やバス路線網を整備して、ある程度分散させたほうが良いと思う。
- ・ 民間需要の見込める区域においては、大幅に建蔽率等を緩和し、集積化を図るべきと考えます。
- ・ 人口が減らないようなインフラ整備を進めることは引き続き実施してほしいが、住民の利便性や既得権を犠牲にするようなことは避けてほしい。
- ・ 新たな施設を作る場合、車でしかアクセス出来ない場所は除外する。
- ・ 一生、ここで暮らしたいと自分が思えること。そして自分の子供にもここに住まわせたいと思えることが最も大切であると思う。(今ここに住んでいる自分たちのためではなく、子供たちのためにここがいいところだからぜひここに住んでほしいと心から言えることが大事だと思う。) 自分たちの住んでいるこの場所がなぜ過疎化が進んでしまうのかを真剣に考えなければならないと思う。
- ・ 点と点をつなげて、線にするような政策を。
- ・ 低所得者に優しい都市計画を進めてほしいです。

(2) 公共施設に関する意見

①道路に関する意見

- ・ 市道だけでなく、国道や県道との接続を安全かつスムーズにしてほしい。また、成田市は、圏央道において片側2車線化を提案してほしいです。
- ・ 公津の杜 宗吾道路、いい加減に開通させてください。いったい何年かけているのですか？北千葉道路も早急をお願いします。
- ・ 成田駅周辺の一般車の乗り入れ場所の確保と大規模商業施設周辺のいつも混雑する道

路をスムーズに出来るような道路政策を早急に考えて実行してください。

- ・土屋地域は交通渋滞が多く発生しており、深刻な状況にあると思われる。現状は国道408号と51号からのアクセスだけだが、これから千葉北道路や圏央道から流入する形も考えられ、商業施設側とのタイアップした対策が必要だと思う。
- ・土屋周辺は商業施設が次々に建設されるが、道路整備が出来ていないように思います。
- ・中心部の整備ばかりでなく交通量が多いのに歩道がなかったり狭かったりする所を安心して安全に通行できるようにしてほしい。
- ・毎年、年度末になるとあちらこちらで道路工事（補修）がある。また、ガス、水道の工事もある。通行のさまたげにもなっています。もう少し、計画的にできないものですか？
- ・未開通区間のある道路の早期完成をはかってほしい。例として、はなのき台から464号線の間や成田北高の先から成田安食バイパスの区間等。
- ・高齢者の健康と地球温暖化対策としてもっと自転車を活用して頂くためには、道路の自転車に向けた整備がもっと必要です。歩道がないのに車道にも左側に自転車通行に余裕がない、特に道路の左側からの雑草・枝の張り出しは危険ですが点検・整備されていないなど、電動アシスト付き自転車でも老人に利用してくださいと言えない道路が沢山あります。北欧までとは言わないまでも自転車にやさしい環境整備を国内で率先してお願いします。
- ・自転車道を作って欲しい。
- ・道路の劣化状況が醜い。

②公園に関する意見

- ・平成小学区に住んでいます。子供は多いのに子供たちの徒歩圏に広い公園が全くありません。実状にあった整備をお願いします。
- ・成田市は交通の便が悪く市街地以外だと歩道幅も狭いため高齢者も車を使う事が多いので健康を考えるならウォーキングのできる歩道や散歩のできる公園や市民農園など市街地以外も必要だと思います。

③駅前広場に関する意見

- ・JR成田駅前が整備され、利用しやすくなった。
- ・駅周辺などは大人でも歩いていて怖いことがあるので、今回の工事で良くなってくれたらと思っています。
- ・JR西口寂しすぎ。
- ・成田駅前に違法駐輪の自転車が多く見受けられる。条例を駆使しての取り締まりの強化、あるいは短時間制の有料駐輪場の設置などで放置自転車の一扫を。
- ・駅前の自転車置き場が一杯でもう場所が無くなってきました。何とかしてほしい。

④公共施設に関する意見

- ・公津の杜近辺に家族向け公営住宅がないのも不思議です。

(3) 交通に関する意見

① 鉄道に関する意見

- ・4年間独り暮らしをしています。やはり交通が不便に思います。特に希望しているのが北総線、京成 JR をどちらも使えるように湯川へのアクセスを良くして欲しいです。そうすれば都心にも短時間でアクセスできます。公津の杜方面からは湯川に行きにくいです。湯川の駅はいつも利用客が少なく便利になったのにもったいない。
- ・東京駅と成田の間を45分にしましょう。
- ・公共交通機関の終了時間が早いので、もっと遅くまで営業したほうが活性化につながると思います。さらに成田湯川駅にJRの駅を新設し、道路や商店街などの駅周辺の開発を行えば、買い物客や観光客でさらなる発展ができるものと思います。
- ・災害時の安定運行を考慮して、鉄道の路盤の強化及び利便性向上のための駅の新設を行う事が望ましい。
- ・成田湯川駅は東京とのアクセス拠点。増便、運賃安、JR連結、周辺開発など、成田市として積極的に取り組むべきと考える。

② 路線バス・コミュニティバスに関する意見

- ・市内、駅⇄空港のバスがあればいいと思います。鉄道は成田駅止まりや駐車場所が少ないので駅までの交通手段がないときつい。バスだと何箇所か止まるので駅まで遠くても楽です。荷物のある観光客も市内と空港を自由に行ききできるようにしてほしいです。
- ・本数が少なくてもいいので深夜早朝にも対応してほしいです。
- ・公共バスの利便性をもっともっと高めてほしいです。
- ・各地域の団地より、駅及び商店街へのバスの利用便数を増やして欲しい。
- ・もっと交通機関（バス）が便利になってほしいです。
- ・空港対策→格安料金で成田市内を回るバスの確保。
- ・コミュニティバス案内情報が乏しく、公共施設の利用等がしにくい。
- ・並木町周辺のバスの本数が少ないが、道は坂道も多いため、大型でなくていいのでバンのような小型バスでの巡回での小回りを活かした利便性を高めて、病院、買い物など年配者が低価格の定額で利用できるサービスをしてほしい。
- ・周辺地域（下総・大栄）から中心部への買い物や医療のコミュニティバスの利便性が悪い（バス停の場所・利用ダイヤ等）。
- ・コミュニティバスを利用させてもらっています。本数が少ないのは仕方ないですが日中なかなか利用したい時間帯に走っていない事が多く感じます。
- ・コミュニティバスは、住宅地と駅を結ぶ放射線の路線に変更すべきである。

③ その他公共交通に関する意見

- ・交通機関がもっと便利だと思えます。
- ・都心部への公共交通アクセスを向上させてほしい。
- ・電車やバスの時間帯による本数や停車駅を増加させるなど内外との交流をより積極的

に、身近に感じられるようになると思う。

- ・リニア誘致に全力を注ぐ事を希望します。
- ・オンデマンドタクシーの料金も年金生活老人には高い。300 円が良い。
- ・成田空港は、立地、利用条件が悪すぎて、羽田空港に全てを持って行かれてしまった感がある。ハブ空港化しないと益々廃れてしまう気がする。

(4) 防災・減災対策に関する意見

- ・住民に対しては防災無線の追加設置をお願いしたい。特に隣の市町と接する地域は、連携を高めて、協力した形を取って頂きたい。大栄町などと合併した後は茨城県側と接する地域も広がっていることから、そちらとの連携も強めて頂きたい。
- ・最近では地震が多いので地震があったときのための対策や案内を強化してほしいと思う。
- ・そんな計画より先に一昨年ゲリラ豪雨で土砂崩れがあった箇所の補修を終わらせるのが先です。特に成田湯川駅前の通りは未だに歩道が通行止めになっている。いったい何をやっているのか？
- ・環境景観対策、災害対策で、高層ビル、マンションを減らし、昔ながらの街並みを守りつつ、耐震化を、考えていただきたいです。
- ・自然災害に強い、都市づくり政策を進める。中心市街地の高層化は、防災と景観から抑制をする。
- ・人口減少・高齢化、羽田国際化進展を迎え、中長期的な成田市の地盤沈下が心配です。
- ・土砂災害、浸水災害の対策を具体的に盛り込んでいただきたい。

(5) 自然環境・景観等に関する意見

- ・土地の整備ばかりして緑が少なくならないよう考慮してほしいです。
- ・低炭素化の推進は風力、太陽光発電と思います。騒音で使えない敷地に設備をしてもどうか。
- ・自然環境を大切に、農業を発展させる施策にも傾注して欲しい。
- ・成田市はそちらこちらに太陽光パネルが設置されているがこれは市民にどのようなメリットがあるのでしょうか？電気代が安くなるのか。もしそんなメリットがないのなら目障りな存在である。景観が損なわれる。市民にどんなメリットがあるのか、何の為に設置しているのか説明をすべきだと思います。
- ・自転車街をたくさん走るエコな都市を。
- ・市民及び成田に来る人々が地球環境に優しくなり、また、健康で、日々を充実して過ごせるモデル地域となり、その成果を世界へ情報発信してもらいたい。
- ・成田は昔からの町並みが素敵だと思います。それを大事にしながらお年寄りもお子さんも安心して暮らせる都市計画を希望します。

(6) 観光・地域振興に関する意見

- ・個人的には大型温泉（外国人向け、かつ早朝便にそなえて）、日本食のテーマパークなど空港客をターゲットにしたものがあればいいなと思います。

- ・温水プールやお風呂の施設があればいいと思う。
- ・成田周辺には多くのゴルフ場がある。ゴルフ場を使って都内からの人を呼ぶ。
- ・市民が安全・安心に暮らし、充実した市民生活を過ごせるように外国人におもてなし、自然を生かした「花の街成田」を造ることや、美術館建設など文化面を充実させてほしい。
- ・観光地への案内板など、初めて来た方にもわかりやすい街づくりを。
- ・子供が遊べる施設、アンデルセン公園や野田の清水公園のような、キャンプやアスレチック、大きなすべり台、水遊びが出来る施設がひとつもない。集客力のある施設は、街の活性化にもつながる。
- ・観光客を呼び込むのに箱ものを作るのではなく、成田ならではの食材そして出汁文化を取り入れて日本の料理を体験してもらいたいのも良いのではと思います。対象は外国人だけではなく日本人も含まれます。もっと成田の美味しいものをアピールするべきです。
- ・空港対策→伝統文化の発信・語学の強化。
- ・空港、成田山新勝寺、そして広大な緑の丘陵、この三つを調和させながら未来への策定をしてください。
- ・成田参道以外の地域についても魅力を発信すべき。重点地区を設定し、集中的に予算を使い、新たな観光拠点を創造すべき。
- ・空港利用客は一定数維持されるでしょうがスカイアクセス線、LCCバスや圏央道開通により成田を通過する割合が減少することが予想されます。これまでのように、地域活性化コンサルを取り入れた観光PRや地域ブランド開発、参道の開発にばかり眼を向けるのではなく、居住者が住みやすく若い世帯が積極的に流入してくるような都市計画の策定を望みます。具体的には成田ニュータウン団地や中台運動公園、中央図書館のリニューアル、センタービルに代わる複合中核施設等の整備を求めます。

(7) 少子高齢化、人口減少等に関連した意見

- ・「2025年問題」を踏まえて、将来的な地域社会福祉計画を策定して頂きたいと考えます。
- ・少子高齢化社会なので、子供たちとお年寄りの住みやすい街になってほしいです。
- ・高齢者・少子化の偏重しすぎない施策、即ち、青壮年若年者への配慮がもっとあってしかるべきと考えます。
- ・少子高齢化に対応した、努力した人が将来報われる社会インフラ整備。
- ・高齢化に備え、公共施設のトイレの洋式化を。
- ・高齢化対策→空施設の利用・医療従事者の確保・無料バス
- ・今日施設の利用に関して、高齢者の利用しやすい環境。
- ・人（特に御老人）にやさしく（心から）出来る街に絶対になってほしい！！
- ・少子化対策で、公立の幼稚園設置を。
- ・子育て対策→空施設の利用・働く場所の確保
- ・子育てに優しい成田作りを、期待しています。
- ・空き地・空き家の有効活用等意見の公募。

(8) 生活利便施設に関する意見

- ・個人病院があちこちにあるが、もっと病院を医療地区としてまとめるべきである。真中に駐車場を造りその周りに内科眼科歯科皮膚科産婦人科外科など全ての個人病院を誘致すればよい。その医療地区に行けば日赤などに行かなくてもよい病気が全て受けられるようになり、便利である。福岡にはこの様な団地があった。
- ・市民が安全・安心に暮らし、充実した市民生活を過ごせるように救急医療、療養型、特別養護老人ホームなどを充実させてほしい。
- ・公津の杜駅付近ももっと暮らしやすくなってほしいです。近くに銀行がないのは不便です。

(9) その他

①計画の策定方法等に対する意見

- ・様々なことをやらなければいけないのは理解しますが、予算や人員の関係から、やはり優先順位を明確に表して策定を進めていくべきだと思う。その部分をあいまいにしていると、どっちつかずになる気がするので、そこは議論の透明性を確保したうえで、広く市民に公開されるべきだと思います。
- ・Q9 で都市計画マスタープランの内容を思い出しました。過去の広報誌で上記プランを読んだときに情報が少なすぎて自分では将来が分からないなと感じました。(10年後の成田市の人口や収入等)プランの策定はとんでもない希望を元に決めないで欲しいです。また、毎月、進捗状況とプランとの差異の内容を公表すること決めて欲しいです。
- ・情報が足りない。利用できてない。
- ・何が問題で、何が足りないのかが、把握できてない。
- ・各担当者頼みになっている。
- ・ビッグデータの活用。ネットワークの形成など。
- ・年々注目度が増す成田市、余りにも財政が豊かな故無駄な経費が多い気がする。市の職員も皆さん優秀なのは分かっているが、外部からの意見にも耳をかた向けては如何でしょうか。市民からマスタープランの提案を広く公募して、良い計画に対しては成田市発展のコンサルタントとしてそのプロジェクトに参加させては如何でしょうか。そのようなチャンスがあるなら MICE に絡めた提案があります。
- ・地道にコツコツと、事業の優先順位を決めて実施すべき、拙速な計画を急ぐあまり、借金地獄に落ちないように、バブル経済の昔の時代との違いを考えて進めてほしい。
- ・市民の声を拾いつつも、専門家による長期の展望を見据えた企画を希望します。
- ・住んでいる地域の地域別構想を読みましたが、非常に読みやすく関心がある内容でした。もうすこし、広く目に付くところに周知をしたほうがよいと思います。

②その他の意見

- ・マスタープランの様な大きい問題の対処も大切だが身近で起きていて小さな問題だが連日のように放送されている認知症者の行方不明捜索依頼や幼児者に対する痴漢行為等が国際都市成田にはふさわしくない事象であり何とかなくす方法を考えなければな

らない。

- ・私は1年の半分を、色々な面で不便な山の中で生活して居ますので、成田ニュータウン内の家に帰宅した時は、街並みの綺麗さや交通の利便性の良さ、ほぼ何でも揃う商店街の存在等、成田の良さを改めて痛感しています。成田市の中でも地域性が強い部分もありますが、更なる発展を願っています。
- ・このような計画を初めて知りました。
- ・都市計画マスタープランの内容をまだ理解できていないので、内容を調べるきっかけになりました。ありがとうございました。

～まとめ～

市では、平成29年度を初年度とする新たな都市計画マスタープランの策定に取り組んでいるところですが、アンケート結果では70%以上の方が都市計画マスタープランの内容も名称も知らない結果となりました。

都市計画マスタープランは今後の成田市のまちづくりの方向性を定める重要な計画であることから、今後は市民の皆様への周知や情報提供を行いながら計画づくりを進めて参りたいと考えております。

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。皆様のご意見は、今後の市政運営の参考にさせていただきます。今後とも、成田市インターネット市政モニターへのご協力をお願いします。